



## 第31回

### 地域おこし協力隊が行く！

# 実は隣のスゴイ人

曾於市内のスゴイ人にスゴイ人を紹介してもらうこのコーナー。前回のスゴイ人、児玉光弘さんにご紹介いただいたこの方は、「自分で10年かけてログハウスを建てたスゴイ人」とのこと。インタビューは、江藤裕一でお届けします。

【今回のスゴイ人】  
加塩 貞則さん



**今**回、昨年度大隅曾於地区消防組合を退職された大隅町月野地区にお住まいの加塩貞則さんにお話を伺いました。

出身は末吉で高校卒業後、一旦県外に出ましたが消防士になるため帰郷しました。仕事の傍ら、お子さんにジャングルジムなど遊具を作ってあげるなど、ものづくりをよくしていたそうです。

ある日、勤務の時に同僚が持ち込んだ「ログハウスの本に興味をそそられ、まずは犬小屋を作り、次に自転車小屋を作りました。その勢いはとまらず、あちこちへログハウスの見学に行き、ついに「ログハウス」を勤務の合間をぬって作り始めました。

まずは丸太を運ぶクレーン付きトラックを購入。また、丸太のために山も購入！木を切り倒すところから始めたとのこと。38歳の時に作り始め、48歳まで10年という歳月をかけて「ログハウス」は完成。その経験から、ご実家の外壁の補修をしたり、奥様のお店のフローリングを張ったりとできることが多くなったそうです。

これからは「家のメンテナンスを」と奥様は仰っていました。ご主人は「ブロックで家を作る」とこに興味があるそうで、さらなるものづくりへの意欲を湧かしています。

やりたいと思ってもできないこと。とことんこだわっていくこと。

自分の家を自分が思った形で作るという実行力。見習えたらと思います。



## 協力隊の活動報告

初めまして、この5月より地域おこし協力隊として勤務することになりました江藤裕一と申します。出身は東京でIT関係の会社へ勤めていましたが、11年前に同じ九州の大分県宇佐市というところで移住定住と創業に関わり、個人事業としてはWEB関係の仕事をしていました。その後、一旦は関東へ帰りましたが、新たなスタートを切りたいとの思いから、地域おこし協力隊として曾於市企画課で地域と都市をつなぎ、地域の活性化となるようなコンテンツづくりをしていきます。まだ曾於市のこともわからないことが多いですが、ほんのわずかでもお役に立てれば（自分のできることなどたいしてありませんが）と思います。よろしくお願いいたします。



2019年5月7日

江藤裕一